



上野小学校だより



令和3年3月11日
第13号
勝浦市立上野小学校
HP

<http://www.chiba-a.jp/ueno-e/>

一雨ごとに暖かさが増し、春の訪れを感じます。早いもので3学期もあとわずかとなりました。子供達は、元気いっぱいに学年のまとめの学習や、卒業、進級に向けた活動を進めています。先週は、大掃除とワックスがけを行い、学校中がピカピカになりました。今週からは、卒業式の練習が始まりました。12名の卒業生が、立派に巣立っていきますよう、そして、子供達が次の学年に自信をもって進級できますよう、一日一日を大切にしていきたいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様には、1年間上野小学校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

感謝の気持ちを込めて

～6年生を送る会～



3月2日、6年生を送る会を行いました。はじめに、下級生からプレゼントやメッセージが贈られました。低学年は、手作りのメダルや写真立て、似顔絵などと一緒に「いつも遊んでくれてありがとう。」「中学校に行っても頑張ってください」と、メッセージを送りました。5年生は、6年生一人一人を問題にした「私はだれでしょうクイズ」を作成し、入学時のかわいらしい写真や、得意なことなどを紹介しました。全校のみんなが楽しくクイズに参加し、会場は笑顔でいっぱいになりました。次に、「思い出のスライドショー」を見ながら、6年生の活躍を振り返りました。最後に、1～5年生全員で心を込めて「believe」を歌いました。

6年生からは、ダンスと感謝のことばが送られました。みんなのあこがれ、優しくしたのもしい6年生。もうすぐ、卒業の日を迎えます。



1年生

ありがとうの気持ちをこめて「メダル」をプレゼント。



2年生

手作りのフォトフレームに大好きな6年生の写真を入れました。



3年生

一生懸命描いた6年生の似顔絵。そっくりです。



4年生

気持ちのこもった「たんぽぽ」の歌。6年生へのエールです。



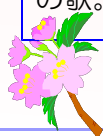
5年生

「わたしはだれでしょう」クイズを、みんなで楽しみました。



6年生

在校生に、楽しいダンスと感謝の言葉が贈られました。



二分の一成人式

～4年生～



3月3日、4年生が家族や先生方を招待して「二分の一成人式」を行いました。はじめに、将来の夢や、頑張りたいことを堂々と発表しました。「できるようになったことの発表」では、3学期に猛練習をしてきた縄跳びのあや跳びや二重跳び、はやぶさ跳びなどを披露しました。また、跳び箱の演技も披露し、台上前転など難しい技が決まると大きな拍手が起きました。親子ドッジボールでは、先生も交えた大人チーム対子どもチームで対戦し、楽しいひと時を過ごしました。

後半は、毎日練習してきた器楽合奏を発表しました。家族のみなさんや先生方から、たくさんの拍手が送られました。最後は、家族への手紙を読み、手渡しました。日ごろはなかなか口に出して言えない感謝の気持ちがたくさん詰まった手紙です。また、10年後の自分にあてた手紙も書き、大事にとっておくことにしました。10年間の自分の成長に気づき、家族への感謝の思いを表わす素敵な式になりました。



3月の全校朝会（オンライン）では、次のような話をしました

— 1年を振り返り、たくさんの人に「ありがとう」といましょう —

暖かい日が増えてきて、梅の花が咲き始めました。春らしくなってきましたね。今日から3月です。はやいもので、令和3年度も残り3週間あまりとなりました。6年生は卒業まであと16日です。先週は、1年間の学習のまとめとなる学力テストがありました。どの学年も、まとめの学習にとても熱心に取り組んでいて、あらためて、上野小のみなさんは、素晴らしいと思いました。

さて、今日はわたしの好きな言葉についてお話をしようと思います。「上野小のあいことば」に、「笑顔であいさつ」があります。みなさんは心を込めて、笑顔であいさつできていますか？

※「笑顔であいさつしているよ」という人は、手を挙げてみてください。〇〇〇〇 ありがとうございます。

ところで、みなさんは、「世界で一番美しい言葉は何でしょう？」と聞かれたらなんて答えますか？校長先生は、こう答えます。それは「ありがとう」という言葉です。この言葉は、私の大好きな言葉でもあります。

みなさんは、保健室でけがの手当てをしてもらった時や、落とした消しゴムを拾ってもらったときなど、この言葉をよく使っていますね。「ありがとう」と言われると、とてもうれしくなります。また、自然に「ありがとう」と言える人をみると、とても素敵だなと思います。

この「ありがとう」を漢字で書くところになります。

『有難う』。「ある」ことが「難しい」と書きます。これは、「めったにないことですよ」「珍しくて貴重なことですよ」という意味です。みなさんは、どんなとき「ありがとう」と言いますか？困っている時、だれかに助けてもらった時、「ありがとう」と言いますね。それから、欲しいものを買ってもらった時にも言うと思います。自分にとって、うれしい時に、「ありがとう」と言います。それは、素晴らしいことです。では、こんな時はどうですか？「朝起こしてもらった時」「ご飯を作ってもらった時」「褒めてもらったとき」「叱ってもらった時」・・・どうですか？

みなさんにとって、親が子どもを起こすのは当たり前。ご飯を用意するのも当たり前。いいことをしたら褒めてもらうのが当たり前。と思っている人が多いのではありませんか？叱られて「ありがとう」なんて言うわけがない、と思う人が多いでしょう。ですが、みなさんが当たり前だと思っている「朝、起こす」「ご飯を用意する」「褒める」などを、してもらえなかったらどうでしょう。あるいは、悪いことをした時や、怠けている時に、叱ってもらえなかったら、みなさんはどうなっていくのでしょうか。

みなさんにとって、当たり前に感じていることでも、実は、「あることが難しく」「大変貴重なこと」が多いのです。もっといえば、当たり前に感じていることを、珍しいこと、貴重なことだと感じることができれば、今まで以上に幸せな気持ちになれると思います。

いつもみなさんの近くにいる、家族や友達、先生を思い浮かべてみてください。今年1年間、みなさんが、元気に楽しく過ごせたのは、きっとだれかのおかげです。

自分も幸せな気持ちになり、相手も嬉しい気持ちになれる、この「ありがとう」という言葉を、毎日たくさん使うようにしましょう。

今日も、真剣に聞いてくれて「ありがとう」

